

若者を戦場に送るな!

戦争法廃止

の声を阿見町からも

暮らし最優先の 町政を

日本共産党 阿見町議会議員

永井よしかず

プロフィール: 1956年東京都江戸川区生まれ/県立土浦工業建築科卒・専修大二部法学部卒/1980年(株)人文社入社 29年間勤務 労組役員歴任/2012年阿見町議(1期目)総務常任委員会副委員長/党阿見町委員会委員長/阿見小ミニバスケット監督/家族: 父、妻
住所: 阿見町鈴木 57-7
TEL (887) 4544 090(8502)3590
E-mail: nagai_fa@hb.tp1.jp

9月19日未明、「安保法案(戦争法)」が強行採決されたその時から、日本の憲法を守ろう・九条を守ろうと決意を新たにしました。
憲法は私たち国民が戦後の復興から自らの力で勝ち取った宝です。その平和憲法を守る事は、地方政治を守る事にもつながります。
安心して暮らせる住みよい阿見町を創って行くために、これからも頑張つてまいります。ご支援・ご協力を宜しくお願い致します。

いじめごめん

永井よしかずのお約束



- 水道料金・国保税の引き下げ、介護保険料・利用料の軽減化
- 原発事故にともなう健康調査の実施
- 利用しやすい公共交通の実現
- 農業や観光業など経済の活性化
- 住宅リフォーム制度の創設

国にもハッキリとものをいいます

- 戦争法廃止「若者を戦場に送るな!」
- 東海第2原発廃炉、原発ゼロの日本へ
- TPPからの撤退・消費税増税ストップ

私の後継者として120%の力を発揮してくれています。阿見町にはなくてはならない議員です。

元町議 細田正幸



2016年夏は参院選 野党協力で戦争法廃止の政府をめざします

私たちが永井よしかずさんに期待します

○佐藤宏之 指揮者・声楽家(二期会会員) 中央東在住
中央東公会堂に隣接する土地の汚染調査では、永井さんに大変お世話になりました。実行力のある人です。

○中山熙之 阿見平和の会会長 うずら野在住
戦争法廃止のための署名活動に積極的に参加してくれて、大いに期待します。

○ミニバスケットの仲間から
子どもたちにミニバスケットを通じて、チームワークや団結力の大切さを指導していただきました。その子どもたちがいきいきと育つ阿見町を永井さんのパワーで実現してください。応援しています。

○高橋維夫 元鈴木区区长 鈴木在住
永井さんは区の役員もやっていて頑張っています。応援しています。

○鈴木耕太 茨城大学学生 若栗在住
若者の気持ちもわかってくれる頼れる存在です。

○石倉黎子 年金者組合・阿見支部 上郷在住
女性や年金者の気持ちに寄り添ってくれる議員さんです。



阿見小ミニバス父母会 芹田亮子、湯原昌子

阿見新報

2016年1~3月号外 日本共産党の見解を紹介します。

発行/日本共産党阿見町委員会 阿見町鈴木57-7 TEL 887-4544

戦争法廃止
平和が一番

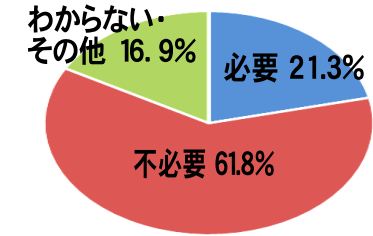
住みよい阿見町をめざしてがんばります

日本共産党 2015年町民アンケートにご協力ありがとうございました。

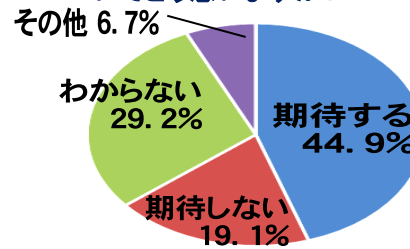
議員の仕事は、住民の声を町政に届け、住民のくらしを守ることです。アンケートの声や暮らしの願いを受け止め、町議会をきびしくチェックし「住民が主人公」になれる阿見町をめざします。

予科練の町から戦争法廃止の声をあげよう
野党協力で戦争法廃止の政府をめざします

問：戦争法(安保法案)についてどう思いますか？

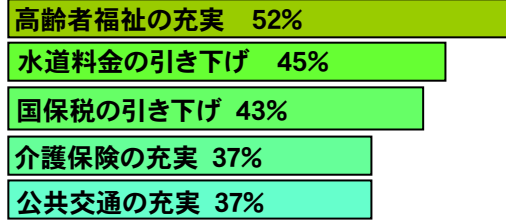


問：日本共産党が提案している「国民連合政府」についてどう思いますか？



町民の切実な願いに応えます

◇阿見町に望むこと、ベスト5は？



一方、阿見町が貯め込んだお金
財政調整基金が、なんと

37億円 ※財政調整基金とは、何にでも自由に使えるお金!!

この財源を町民の望むくらしの予算に使おう!

アベノミクスで暮らし向きが「よくなった」という回答は6%でした。その一方で、福祉の充実や公共料金値下げの要望は、多くの町民の要望です。
これまで阿見町が行政サービスを削ってため込んだ財源37億円を活用すれば、住みよい阿見町の実現が可能です。



2千万署名活動に

「海外派兵の任に就くことになったらどうしよう」自衛隊員のご家族から不安の声が寄せられます。いまこそ「戦争法廃止」の声を全国から、そして阿見町からあげていきましょう



消費税増税反対行動

原発ゼロ・TPP反対・消費税増税反対の願い実現に向けがんばります

事故が起きれば取り返しのない原発。老朽化した東海第2原発は廃炉に。原発ゼロの日本をめざします。「消費税10%増税・TPP参加なんてとんでもねえ」の声は深刻です。地域経済・農業を守る共同を広げます。

町民のみなさんと「いつでも力をあわせて」

省庁にも町民の声を届けて



国会議員とともに、放射能に関する健康問題や国保税の引下げなど、町民の切実な声を国にも要望しました。

議会ごとに報告会

永井さんは、議会ごとに報告会を開催するとともに「阿見新報」を発行し、議会内外の様子を毎回お知らせしています。



子ども議会開催

18歳からの選挙権の施行が7月の参議院選挙から行われます。永井さんの提案で、議会に関心を持ってもらうために行われました。

ボランティア活動にも積極的に

「苦難あるところに共産党あり」。先頭に立ち活動する永井さん。つくば市のたつ巻災害、常総市の水害救援にも参加しています。



常総水害サポートセンターにて



日本共産党 阿見町議会議員

永井よしかず



ミニバス教えて20年

毎年子どもたちの成長を見守ってきました。一人ひとりの成長は早いもので、成人

式で会う子どもたちは、もうみんな立派な大人になっています。彼ら、彼女らを悲しませるような政治はごめんです。ルールを無視する政治ではなく、ルールを守り発展させる政治が必要です。笑顔で毎日をいきいきと暮らせる世の中を、そして阿見町をつくっていきます。



永井よしかずの活動スタイル

しっかり調査

きちんと発言

かならず報告

あなたの願いを 永井よしかず に託してください